



森本 貴之 議員

分館機能を町から切り離すのか

教育長

強いるものでない



地域に根差す活動を支える高麗分館

【森本】大山公民館高麗分館の職員体制の変更について説明を受けた。

分館は、地域においてどのような役割を担っていると考えるか。

【教育長】生活に即する教育や文化に関する事業などを行い、生活文化の振興や社会福祉の増進に寄与することである。

分館は地区の住民のために公民館行事を行うものであると考える。

【森本】令和2年度から運営体制を変更し、段階的に一本化を進め、分館の公民館機能を「公」から「民間」へ移行する方針もあるということが示された。分館の公民館機能を町から切り離す考えか。

【教育長】地域自主組織の活動が充実していけば、公民館機能と重なることが課題である。地域の実情に応じて取り組むが決して強いものではない。地域が望むのであればということである。

今後の教育方針は

教育長

ふるさと教育を根本に据える

【森本】大山町教育振興基本計画は、町総合計画の教育に関する分野別計画として位置付けられる。本計画の前期となる、平成27年度から平成31年度までの5年計画の総括は。

【教育長】幼児教育では、知・徳・体の基礎をバランスよく育む保育を行った。

学校教育では大山検定を実施し、ふるさとを愛する気持の醸成をはかった。

社会教育では公民館や図書館を拠点とし、講座、教室などの学習機会を提供した。

いずれも一定の成果を出した。



特色あふれる名和小相撲大会

【森本】先進的なICT教育や、郷土愛を育むふるさと教育の推進も求められる。

後期の5年計画がスタートする令和2年度以降、どのような方針で教育を進めるか。

【教育長】ICT化の発展により先進的な教育は計画的に進めていかなければならない。本町を思い、支えてくれる人材を育てる、ふるさと教育を根本に据えて進めていく。